

（ほう）こん

題字・清水英夫

GALAC・11月号・付録
2011年11月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03) 5379-5521 / FAX(03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

新入正会員自己紹介

テレビを守る姿勢も時には必要
高堀冬彦

入会させていただきました。昨年まで20年間、スポーツ新聞社に勤め、放送記者会に所属していたため、放送批評懇談会の活動には注目しておりました。

記者時代には拙いメディア論やドラマ評を書いておりました。週刊誌ライターとなった今後も続けるつもりです。過去には批判記事も書きましたが、それは人一倍のテレビ好きゆえでした。このマスを埋めている現在、フジテレビが一部の人たちの激しい非難を受けています。つぶさに検証したつもりですが、この人たちの主張が理に叶っているとは思えません。誤った認識、突拍子もない声もあります。少数意見は尊重されるべきだと思いますが、今回のようにスポンサーの商品の不買まで呼び掛ける活動が、テレビ界の発展に寄与するとは思えません。制作現場の萎縮に繋がるでしょう。

テレビとは何かを考え直す機会になりました。放送内容の善し悪しを考えるだけでなく、テレビを守る姿勢も時には必要な気がしました。

☆ギャラクシー賞マイベストTV賞☆ 2011年9月度の投票も始まりました！

ギャラクシー賞マイベストTV賞2011年9月度作品の投票を開始します。正会員の皆さまは、添付した正会員専用 投票用紙 でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

リスト以外の作品を記入できる欄もあります。ご活用ください。
正会員の皆さまのご参加をお待ちしています！

マイベストTV賞
携帯サイト、
オープン中！
投票はこちらからもできます
<http://www.houkon.jp/m>



GALAC「TV BEST&WORST」原稿募集中！

★正会員の皆さまの投稿をお待ちしています！

＜投稿ルール＞

- 2011年9月のテレビ番組(地上波、BS、CS、CATVなど日本で視聴できる番組すべて)から3つ選び、自由に論じてください。
番組名の頭に○(良い)×(悪い)マークを忘れずにつけてください。
- 本文は25字詰め12行でご執筆ください。
お名前とふりがな、職業、年齢(なくてもOK)もお忘れなく。
- 原稿締切は10月17日(月)です。
- 匿名原稿は受けつけません。
掲載の決定は編集部にお任せください。
原稿の返却、採用・不採用の問い合わせには応じることができません。また、原稿は趣旨を損なわずに手を入れることがあります。
- ご応募くださった方には、もれなくGALAC1冊お送りいたします。また、採用の方には、謝礼として1000円分のクオカードを進呈いたします。
- ホームページ、郵送、ファクスで受け付けます。

宛先 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル

GALAC編集部

ホームページ <http://www.houkon.jp/galac/toukou.html> FAX 03-5379-5510

第49回ギャラクシー賞 上期募集締め切り迫る

—9月理事会報告—

2011年9月29日、9月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 丹羽委員長
・11月号校正終了し、印刷中。

・過去2号(9月号・10月号)東日本震災を前後編として特集してきた。今回は3号目として、原稿に絞って「原稿とメディア」を特集した。充実した内容となっていると思う。乞うご期待。

表紙は長谷川博己さん。ザ・パソンはNHKで音響効果を手がけている小野さおりさん。

・12月号。特集は「韓流の実力度」を予定。表紙は中村蒼さん。ザ・パソンは小山薫堂さん。

・10月からNTTレゾナント運営のポータルサイト「goo」に記事

を配信する事とした。

これまで「nifty」サイトに連載を中心に配信していたが、gooから申し出があり交渉してきたが契約条件が整った。

同じく連載を中心に配信する。

◇選奨事業委員長 小田桐委員長
・8月25日に1回目の「ギャラクシー賞検討小委員会」を開催した。

まずは設立の目的・メンバー構成・委員会の開催方法などの確認をした。そして各委員がどのような点に関心を持っているかとか、各委員会の活動の現状や課題と考えていること等をお互いに披露した。

今回は、10月24日を予定。
シンボルマークに象徴される当会の理念を具体的な文章としては

つきりさせるとか、以前から討議されている評価基準の明確化とかに取り組んでいく。

定款に関わる点はないと思うが、細則には関係すると思うので、整合性を照査して場合によっては細則の改訂もあり得ると考えている。次回からは、検討するポイントを整理したもの、時にはそれに対する私案をまとめて事前に配りした上で、効率的に会を運営していくつもり。

〈テレビ委員会〉川喜田副委員長
・9月27日に月例会を開催した。
4本月間賞を選んだ。「東日本大震災6か月 取り残される障害者」(NHK)「情熱大陸 石巻日日新聞」(MBS)「それでも、生きてゆく」(フジ)「飛び出せ!科学くん」(TBS)。なお、月間賞の公式解禁日は10月20日です。
・ギャラクシー賞上期の応募数。

8月末締め切り分は112本、更に9月放送分の締め切りがある。多分、昨年を越えるのではないかなと思う。選考会は10月30日を予定。
〈ラジオ委員会〉桜井委員長
・9月26日に月例会開催。ABC

「きよし・八方のボンカラリン」と
MBS「ますます！ハイヒール」と
いう関西のしゃべくり番組を取り上
げた。

・10月2日に14回目の「入賞作を聴
いて、語り合う会」を日大の録音ス
タジオを借りて開催する。聴く番組
は、NHKのドラマ「薔薇のある家」
とFM沖縄の生ワイド「ゴールデン
アワー」のふたつ。

・ギャラクシー賞の選考は、ドラ
マ・ドキュメンタリーが10月27日、
生ワイド・音楽エンタテインメント
が10月31日。

〈CM委員会〉 五井委員長

・9月9日に委員会開催。合評に先
立ち先程話題となっているギャラク
シー賞小委員会に關し、CM部門の
抱えている課題・問題、ギャラクシ
ー賞作品の発表の場の問題等に関し
意見を述べ会い情報を共有すること
に努めた。

・選考会は10月25日を予定している。
明日締め切りだが、現在、応募が少
ない。ご存知のように震災後約2週
間CMが放送されなかったというこ
とがどのように影響するか懸念する。

〈報道活動委員会〉 市村副委員長

・選考会は10月22日開催予定。
・「観て語り合う会」は、会場の都合
で再調整中。

◇企画事業委員会 中島事務局長
・企画テーマ等検討中。開催日のみ
決定した。来年3月8日(木)、会場
は今年と同じく「都市センター コ
スモスホール」。(特注・その後の委
員会で事情により、開催日を2月28
日に変更)

◇マイベストTVプロジェクト 滝
野プロジェクトリーダー

・月例投票とは別の特別投票のテー
マを決めた。今回は「音楽番組」で
あった。今回は「料理番組」。10月5
日投票開始。年内にもう1回特別投
票を予定している。

2. その他

①入会・退会 中島事務局長

・入会 正会員 小池清氏

・退会 正会員 瀬尾伊知郎氏、
姫宮恵子氏

②「東京TVフォーラム」共催名義
の件

・「東京TVフォーラム」の共催依頼
がATP(全日本テレビ番組製作社
連盟)よりあった。音理事長より、
大会内容に關し詳細な説明があった。

↓満場一致で了承。

◇次回以降の理事会

10月24日(月)

11月28日(月)

12月21日(水)

【出席】音好宏、橋本隆 小田桐誠、
丹羽美之、桜井聖子、五井千鶴子、
滝野俊一、飯田みか、市村元、入江
たのし、川喜田尚、隈部紀生、河野
尚行、嶋田親一、稗田政憲、中島好
登

会議記録

〔8月〕……………:

19日 出版編集委員会

21日 (選奨) ラジオ定例部会

31日 (選奨) テレビ月評会

〔9月〕……………:

9日 (選奨) CM定例部会

20日 出版編集委員会

26日 (選奨) ラジオ定例部会

27日 (選奨) テレビ月評会

29日 理事会

第11回日韓中テレビ制作者フォーラム in札幌

Photo report by 高橋秀樹



23日午後のシンポジウム「震災 テレビはどう伝えたか」



モデレーター 音好宏放
理事長



TBS 金平茂紀さん



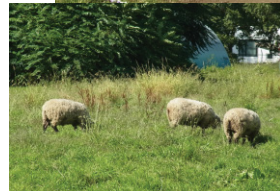
NHK 鎌田靖さん



公園のような
北大キャンパス



北海道大学内のポプラ並木



構内には羊の牧場も



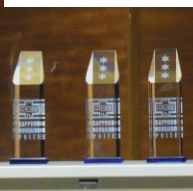
写真撮影担当の伊藤雅
浩さん



最終日には、各作品制作者にトロ
フィーが渡された



全体の質疑後も、フロアでは通訳を介して活発
な情報交換が行われた



参加作品制作者に贈ら
れたトロフィー

第11回日韓中テレビ制作者フォーラムが、2011年9月22日～25日、札幌の北海道大学を舞台に「地域とくらし」をテーマに開催された。韓国から約20名、中国から約20名、日本からは約60名のテレビ制作者、放送関係者が参加。3ヶ国からは地域やくらしをテーマにしたもの、震災を描いたものなど11本のテレビドラマ、ドキュメンタリーが出品され、全員で視聴したのち制作者とのディスカッションが行われた。

3.11東日本大震災のあった今年2011年。大会にはシンポジウム「震災 テレビはどう伝えたか」が盛り込まれ、日韓中のパネリストを中心に震災報道をめぐるテレビの役割を真摯に語り合った。市民参加となったシンポジウムには福島県からの被災者も出席して、熱い熱気に包まれた。

最終日には、会場となった北海道大学・東アジアメディア研究センター主催の国際シンポジウム「東アジアとメディアの新たな可能性」も行われ、貴重な報告やレポートが披露された。



最終日の合評会、ドラマの
進行役は堀川とんこうさん



合評総括を語る河野尚行
放懸理事



開会挨拶をする今野勉
放送人の会代表幹事



鄭秀雄フォーラム常任委
員長



大山勝美放送人の会特別
顧問



最終日の合評会、ドキュメン
タリーの進行役は曾根英二さん



合評総括の司会をする山
田尚さん



会場より発言する村上雅
道さん



大会実行委員長の札幌テ
レビ林健嗣さん



北大・東アジアメディア研究センター主催
の国際シンポジウム「東アジアとメディア
の新たな可能性」



番組はオリジナル音声に加え、他の2ヶ国語
の字幕で上映された



シンポジウムではNHKの収録も行われた



初日オープニングソング
は「江差追分」。歌い手は
民謡歌手のカズミさん



開会式ではNHK・地元民放の取材も行われた

24日のナイトツアーは
小樽へ



会場の北海道大学学术交流会館前にて



小樽にて熊と筆者



中国 四川放送テレビ局
「家園(ふるさと)」
Gao Songさん



中国 国家一級脚本家、
監督「暑立里」
Li Yaweiさん



中国 四川放送テレビ局
「新家(新しい家)」
Li Jinfengさん



中国 国際電視総公司
「野鴨子」
Tong Fengyanさん



韓国 MBC「私の故郷」
Lee Jeong-Sik さん



韓国 EBS「向かい合っ
て笑おう」
Lee Chang Yongさん



韓国 KBS「大地震100
日、揺れる日本」
Kim,hyoung-sukさん



日本 札幌テレビ「命の
値段 がん患者、闘いの
家計簿」佐々木律さん



日本 北海道テレビ「ミ
エルビ」藤村忠寿さん



日本 共同テレビ「フリ
ーター、家を買う。」
橋本芙美さん



日本 NHK「嵐の気仙沼
～宮城・港町の特別な
一日」久保志穂さん